



2020年8月7日

各 位

上場会社名 太陽誘電株式会社
コード番号 6976 東証一部
代表者名 代表取締役社長 登坂 正一
問合せ先 広報部 部長 木本里映子
電 話 (03)6757-8315
U R L <http://www.ty-top.com/>

第1四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想に関するお知らせ

2020年5月12日に公表した2021年3月期第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)の連結業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、未定としていた2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり開示いたします。

記

1. 2021年3月期 第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	60,000	3,000	2,500	1,500	11円95銭
実績 (B)	60,493	7,923	7,371	4,541	36円19銭
増減額 (B-A)	493	4,923	4,871	3,041	
増減率	0.8%	164.1%	194.8%	202.7%	
(ご参考) 2020年3月期 第1四半期実績	68,635	9,595	8,846	7,151	56円26銭

2. 2021年3月期第1四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が生じた理由

当第1四半期連結累計期間は、固定費の抑制や為替変動、今後の不測の事態に備えた対応として棚卸資産を積み上げたことなどにより、上記のとおり予想と実績に差異が発生いたしました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響によりフィリピン、マレーシアの生産子会社において稼働制限が生じたことで70億円程度の売上減少影響があったと推定しております。

3. 2021年3月期 第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	-	-	-	-	-
今回予想 (B)	130,000	15,000	14,000	8,500	67円73銭
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率	-	-	-	-	
(ご参考) 2020年3月期 第2四半期(累計)実績	141,908	20,298	19,176	15,332	121円27銭

4. 2021年3月期 連結通期(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	-	-	-	-	-
今回予想 (B)	265,000	27,000	26,000	17,000	135円46銭
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率	-	-	-	-	
(ご参考) 2020年3月期 通期実績	282,329	37,176	35,165	18,022	143円04銭

5. 2021年3月期連結業績予想の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により世界景気が急速に減速し、また、各国の通商問題や地政学リスクによる不確実性も高まっていたことから、2020年5月12日においては通期の業績予想を合理的に算定することが困難であったため、2021年3月期第1四半期連結累計期間の業績予想を開示いたしました。このたび、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、上記のとおり通期業績予想を開示いたします。

2021年3月期における業績は、新型コロナウイルス感染症の影響が通期にわたって継続する想定とし、減収減益を見込んでいます。なお、当第1四半期連結累計期間においては新型コロナウイルス感染症の影響によりフィリピン、マレーシアの生産子会社における稼働制限が生じましたが、第2四半期連結会計期間以降は通常どおり稼働できる前提としています。また、第2四半期連結会計期間以降の期中平均為替レートの前提は1米ドル107円としています。

足元では新型コロナウイルス感染症の影響による不透明さや需要の停滞がありますが、中期的には電子部品の需要が増えていくというトレンドに大きな変化はないと想定しています。当社が注力すべき市場と位置付けている自動車、基地局通信装置・データセンタなどの情報インフラにおいて電子化・電装化や高性能化が進展し、大型・高信頼の電子部品の需要が拡大していくと見込んでいます。また、5Gスマートフォンなどを中心とした通信機器の高機能・高性能化が続き、高い技術力を必要とする最先端商品が増加すると考えています。それらの需要に備え、また、将来の成長に不可欠な投資を継続していきます。一方、今後のリスク対策として、より強固な分散生産の体制構築やAIなどを活用した生産効率の改善にも努めていきます。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されている業績予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要因の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上